

掲示板法話

善正寺だより

仏法は鉄砲の反対 鉄砲は人を殺すが

仏法は死んだものを生かす

花だよりが聞かれる季節ですが、今年はお花見を楽しむ気分にもなれませんね。新型コロナウイルスの感染が中国から欧米など、世界的に拡大するに至り、WHO(世界保健機関)がパンデミック(世界的大流行)を宣言。

昨年末、中国武漢市で感染症の発症・拡大が報道されましたが、当初ほとんど他人事扱いでした。経済や人の交流が地球規模になり、ウイルスの感染も地球規模になるのでしよう。この新型ウイルスの感染源は当初ササネズミだという情報がありましたが、今では一応コウモリだと言われます。コウモリは免疫機能が高く、飛行距離が長いので、アフリカの熱帯雨林が住処のコウモリまで生息範囲を広げ、地球の温暖化と共に温帯地方でも新感染源になる恐れが増すのです。法語カレンダーの3月の法語を見ると「本当のものがわからないと、本当にものを本当にすること」があります。「本当のもの」とは真実のこと、という意味ですから、何が真実で何が偽り、不実なのか分からず、「我執や!」「鉄砲は生きた者を殺すが、仏

の色眼鏡」をかけて互いの居場所を排斥し合う愚かさを繰り返す我々の姿が言い当てられているのです。

感染を防ぐために、皆がマスクを買ないで、深刻な状況が起きています。見えないウイルスを前に、恐怖が広がって、電車の中で咳をした人が「あつちへ行け」「何だと!」と喧嘩になるようなトラブルで列車が遅れるなどの粗末なことさえも起きてています。

しかし、愚かな排斥を繰り返している間にも時は過ぎ去ります。有限な命の我々はいつ何時この世の命が終わるかもしれない存在です。一日一日、無駄に過ごしていいではありません。急ぎ真実まことに遇うことによってお互に仏さまから「いのち輝け」と願われ、凡夫が凡夫のままに救われ、「本当の居場所が今ここにあり」と目覚めの人生を賜りたいものです。

「仏法って何や?」「鉄砲の反対や!」「鉄砲は生きた者を殺すが、仏

〒512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
fax:059-332-0733

☆行事ご案内☆

初参式・降誕会(ごうたんえ)

4月18日(土)午後1時 赤ちゃん募集千円

講師:加藤幸子先生 主催三全佛教婦人会

※コロナ感染拡大で中止の場合は3月末発表します

◇4月の門信徒会例会

4月19日(日)夜7時半 世話方選挙開票

新旧行事さんお集まり下さい。
新年度の基本方針
門信徒会長、会計選出

◇一縁会テレホン法話 TEL059-354-1454へお電話下さい
三重組5か寺の住職、坊守、若院が週替りで3分法話
18冊目の新刊本「仏様から信じられている」発売中、
住職と坊守の共著本『虫の眼、鳥の眼、仮の眼』発売中

◇絵手紙教室:4月14日(第2火)前10時 53回目川崎光子先生

◇キッズサンガ:4月4日(土)後4時、鐘撞きは毎夕5時

◇歌声喫茶:4月16日(第3木)後1時庫裏食堂で

◇善正寺ホームページ「三重善正寺」で検索、1年分の寺報閲覧。毎日更新ブログ「住職と坊守のつれづれ日記」

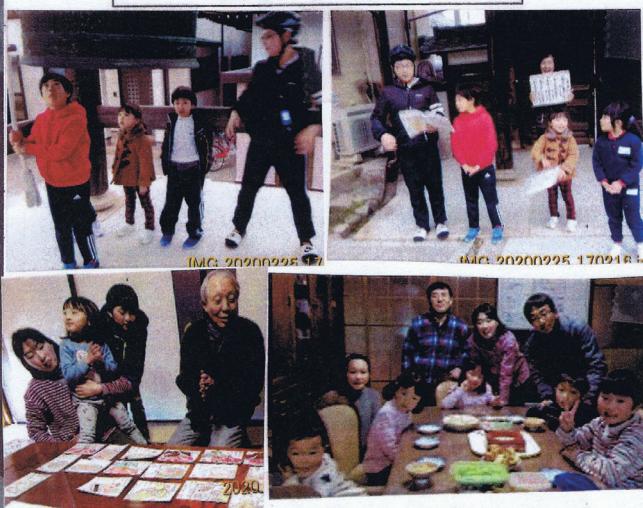
好評。開設11年8ヶ月で31万5千訪問。悩み相談歓迎

◇新納骨堂:後継者のない方、お墓でお困りの方ご相談下さい

◇法事場所:法事場所でお困りの方、本堂使用可ご相談下さい

法は、死んだものを生かす
これは高光大船師(石川県の真宗大谷派の僧侶)と門徒の青年との会話。
「俺は死んどらん」と反発する青年に「食うて、動いとるだけや。生きる悦びがあるか?」と問われて青年は言葉に詰まったという。
牛も豚も鳥も魚も、米も野菜もあらゆる命が我が命を支えてくれている。それを我が前に恵んでくれた多くの人がいる。生かされている命のままに居場所が恵まれていてことを思えば、正しく注意してこの難局を共に支え合い生かされて参りたいと思います。

写真アラカルト



坊守スケッチ

疫病との闘いで歴史が動く

新型コロナウイルスが瞬く間に広がり世界中を震撼させています。

日本でも全国一斉休校が要請され、善正寺でも永代経が中止されました。

前代未聞の決定で申し訳ない気持ちです。集団感染の恐ろしさは、ジワジワと時間をかけて広がり、まさに見えない敵との闘いです。

2月初め頃多くの外国人観光客を受け入れていた頃は、3月になつて日本で非常事態が起ころうとは、誰が想像したでしょうか?

ところで約1世紀前に世界中を襲つたスペイン風邪を覚えていましたか? 感染者数5億人、死者は5千万人。戦争や災害を含めて短期間に多くの人類が死んだ最悪の記録です。第一次世界大戦末期、米国からヨーロッパ戦線に送られた米兵を通じて広がり、ドイツ軍兵士の感染者50万人、米軍死者の半数は感染者でした。スペイン風邪の名前の由来は、スペインが中立国で感染情報が初出だったからです。

更に古代ローマ帝国を滅ぼした一つも疫病。中世末期ヨーロッパを襲つたのはペスト、発疹チフス、コレラ、赤痢等。中世の疫病はネズミが媒介し、シルクロードはペストロードとも呼ばれました。ナポレオンも戦争で発疹チフスに苦しめられ、疫病は戦争の勝

敗さえも左右しました。

一方日本に目を轉じると、平安末期栄耀榮華を尽くした平清盛でさえ、日宋貿易の輸入品に混入した熱帯マラリア蚊によつて高熱に苦しんで亡くなりました。

このように内外を問わず、人類は疫病との闘いによって歴史が動いたと言つても過言ではありません。かつては地方病だった疫病が、文明が発達して人や物の交流が盛んになると、一瞬にして世界中大流行の兆しがします。

今回の感染拡大は、見えるものにしか価値を認めず、自先の利益を追い求めて来た現代人への警鐘ではないでしょうか? 見えないものこそ大事にして、「むさぼり」「愚かさ」の姿勢を反省して、謙虚に暮らしたいものです。

読んでいました。

そして平日は学校のように時間割を組むことにしました。算数・国語をはじめ、室内野球や自転車冒険の体育、タブレットでプレキン英語を見る英語、昼食調理の生活、など普段は出来ないことが多く、親にもなかなか刺激的な毎日になりました。

多方面で苦境に立たされている方が多くいる今、いつもとは違う子供との日常生活を大切にしたいと思いました。



★若院夫婦の『育自な日記』 64

ますます深刻さを増してきた新型コロナウイルス感染症。テレビも新聞もこのニュースばかりなので、ここで

は別の話題を…と考えましたがそうもいかなくなりました。市内の小学校が休校になつたからです。四日市市は三日の猶予を持たせて休校期間に入り、沢山の宿題を持ち帰つた長男(小2)を見て、自宅で長い休みをどう過ごすかという親力が問われているような気持ちになつてきました。

焦りは禁物、と情報収集してみるとヒントが見えてきました。まずは大手通信教育会社の自宅学習用ドリル無償提供に早速申し込みました。また電子図書館サービスの期間限定公開もあり、長男に見せたところタブレットで読んでいました。

☆仏婦初参式&講師会4月18日(土)後1時 加藤幸子先生 赤ちゃん募集 ☆善正寺門信徒会5月17日前10時 ☆工藝盆会法要8月14日午前8時半 ☆秋季永代経8月15(土)・16(日)両日共午後1時半 加藤正人先生

☆報恩講 11月2日午後と夜・3日午前と午後仏婦報恩講守快信先生(滋賀)

☆秋勤進 11月23日午前8時 ☆お内仏報恩講 12月5日土前10時半

※第3日曜日夜7時半門信徒会例会

令和2年度善正寺主な行事案内

★川崎恒二様(西阿倉川3月12日往生72歳) 絵手紙の先生の「主人様」

誰んでお悔み申し上げます



書稿

廻屋や水仙だけが勢いよく 釋妙水

寒天や鳥の鳴き声突き刺さる

母恋しつないで編むや古毛糸

白菜を抱えし友の自慢顔

羽根の中に首浮いている小鳩かな

試験済み白鳥彈む帰り道 釋清風

ウイルスを恐れすつぱりマスク顔

ご先祖の笑み給うなり春彼岸

上着脱ぎ駆けまわる児や山笑う

純情の人偲ばるる白木蓮

★ 編集子より ★

「善正寺だより」三一六号をお届けします。

◇新型コロナウイルスの感染拡大の

ため春季永代経法要の中止は苦渋の決断

でした。戦時中にもなかつたことで、お

参りを「予定の皆様には誠に胸の痛む思

いです。◇ウイルスはミサイルより恐ろ

しい……◇「世の中は地獄の上の花

見かな」(一茶)。「当たり前」で過ぎてき

恐怖を転じ「全ての命尊し」と覚醒を!

今年は春が来る前にまさかの緊急事態となりました。新型コロナウイルスが日本中に感染拡大して不安な日々です。いつ終息するのかで、身近な所で感染はないか?・3月の行事は中止したが、4月の初参式・降誕会はどうか?それ以降の行事は大丈夫か?東京オリンピックはどう、次々に心配になりました。今まで当たり前であつたことが一瞬のうちに崩れ去り、沢山のお祭り旅を週ごさせて貰いたことに気付きました。SNSで世界中と繋がり、人が自由に交流できて何でも自由に欲しいモノがすぐ手に入る時代になつて、「見えない敵」と聞くことは誰も予想できませんでした。長い歴史を顧みず、「今さえよければ」「自分さえよければ」「おなまえ儲かるば」いう現代人の生き方のツケが回っています。人間の食用となる豚や牛や鶏などの物言わぬ動物たちが感染症拡大の恐れから一瞬のうちに大量処分されたことは記憶に新しい事実です。もしかしてこれらの動物達の人間への報復かもしれません。驕り、高ぶり、むごびりの心を反省して見えない存在に感謝することが大事です。何事も業縁・報い」と受け止めて、「ご先祖が乗り越えた道を皆様と一緒に歩みましょう。「焦せらずとも大丈夫!」時が来れば必ず解決する」と仙様は救いの手を差し伸べて下さいます。4月以降のお寺の行事に関しては、状況を見て判断をし、変更があれば逐一ご連絡申し上げます。一刻も早く終息して安心して本堂でお参りをきますことを願って止みません。くれぐれもご自愛下さい。

合掌

善正寺坊守 拝

令和二年 四月